

大阪・関西における空飛ぶクルマを活用したビジネス構想

ビジネス構想

構想内容

【フェーズ①：短距離観光向けのサービス展開】

【構想】

- ・万博後の**2026**年のサービス開始を念頭に、万博会場近隣から大阪府都心部の遊覧飛行を開始。
- ・**2027**年ごろには、大阪府都心部と兵庫主要拠点(神戸エリアなど)を繋ぎ、空の観光という新たな魅力を創出する。

【実施イメージ】

- ・完全予約制とし運航開始。インバウンド顧客や富裕層ターゲットに価格を設定予定。

【フェーズ②：中距離運航のサービス開始】

【構想】

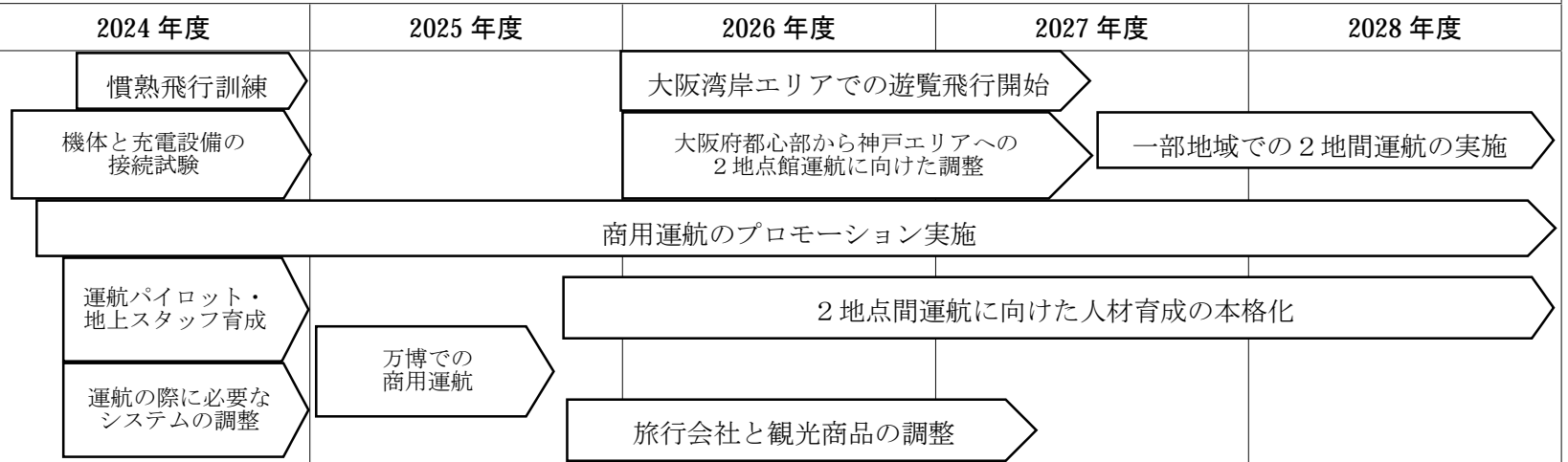
- ・機体開発状況にもよるが**2035**年ごろに、中距離(**30 km**)程度の運航を開始。
- ・大阪府都心部から移動需要の見込める淡路島や関西圏各空港までの運航を想定。

【実施イメージ】

- ・完全予約制とし運航実施。インバウンド顧客や富裕層以外にもビジネス層などの一般顧客もターゲットとする。

※ただし、上記構想は〇〇社が開発する機体〇〇が、**202〇**年上期に**TC/AC**を取得することを前提に記載しており、機体開発の状況に応じて、構想内容、計画に変更が生じる可能性がある。

構想実現に向けたアクション



実績（※）					
-------	--	--	--	--	--

※毎会計年度終了後 15 日以内に、過去 1 年間の構想実現への実績を記載し、関係自治体の担当者へ提出してください。